

## 報 告

看護学部の地域公開活動報告  
「看護の日にあたり健康を考える」を実施して川名ヤヨ子<sup>1)</sup>、森田 孝子<sup>1)</sup>

## はじめに

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要ということから、1990年「看護の日」が制定された。

看護は、人々を生活者の側面から健康の維持・増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和に向けて支援することを基本としている。人の健康へのサービスを仕事とする看護を学ぶ場である本学部では、看護の心を育てることに力を注いでいる。そして本学部は本年春に第1期生を社会へ送り出した。これを機に大学の使命として社会へ向けて看護についての発信をしていきたいと考え、その1つとして、公開活動「看護の日にあたり健康を考える」を実施した。

今回は、市民の皆さんの健康チェックと交流をさせていただきながら、看護学部の教職員として社会に貢献できることは何かを考える、また学生は、健康と看護についての知識技術をより確かなものにすることを目指した。実施した、成果と今後の課題について報告する。

## 方 法

開催日時：平成20年5月10日(土)

10:00~14:00

開催場所：高崎市役所1階ホール

実施方法：相談、健康チェック、体験、展示の4つのコーナーを設け、学生が主体的に対応し、教員は適正、円滑に実施されるように学生を指導・支援した。

1) 相談コーナーとして健康相談、療養相談、進路相談の3つのコーナーを設け学生が医師・看護教員とともに対応した。

2) 健康チェックは、血圧測定、体脂肪測定、アル

コールパッチテストのコーナーを設け、主に学生が担当した。

3) 体験コーナーは基礎的心肺蘇生法(BLS)とAEDの体験、自分の血流観察体験の2つを設けた。

4) 展示コーナーには、上武大学・看護学部ではどのような学びをしているかをパネルにして展示した。

## 結 果

本活動は、27名の学生と教職員13名が中心になって実施された。当日は、朝から雨風に見舞われたにもかかわらず、広報担当の学生たちはビラをもって市民の皆さんの参加を呼びかけた。参加者は正確な把握ができていないが、150枚用意したアンケート用紙が足りずに増す刷りをした数から200名を超えていたと推察される。参加された住民の方々は、近隣の方だけでなく、ボーイスカウト、野球少年団、野草の会や趣味の会でたまたま通りかかった人達などさまざまであった。相談コーナーでは自覚症状や病気療養に関する相談が20件あった。学生が対応困難な事例については医師を含む看護教員で相談に応じた。

(1) 一般参加者のアンケート回答から

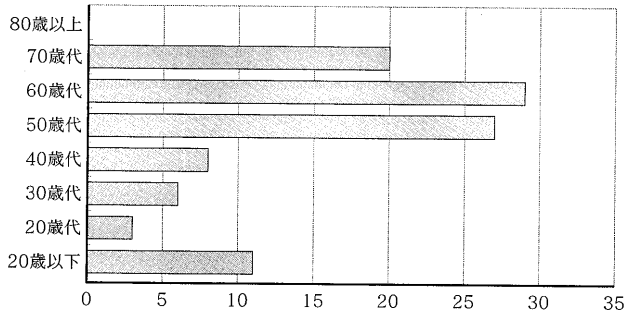
回収数は106枚(男性30、女性61)で、97人(94%)がよかった、6人(6%)が普通と回答した。回答者の年齢構成は[図1]に示すとおりであった。このイベントは何で知ったかについての回答は[図2]に示すとおりであった。誰と参加したかについては[図3]に示すとおり家族が最も多く、ついで友人で、一人で参加された人も多かった。地域別に参加者を比較すると高崎市内が最も多く半数近くであったが、その他が47%を占めるように地域は分散していた[図4]。印象に残ったことについての質問には、「AEDの体験ができてよ

1) 看護学部

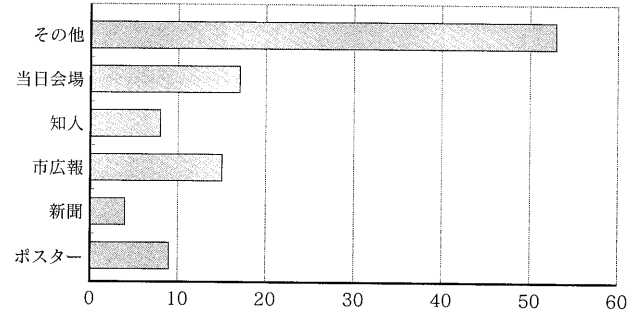
かった」「血流検査・アルコールパッチテストがよかった」「思いがけず短時間で健康チェックができてうれしかった」等さまざまな意見が寄せられた。また、学生を激励する意見も多かった [表1]。

(2) 学生の回答からは [表2] に示す意見があった。  
 (3) 教員のアンケート回答は、[表3] に示したとおりであった。

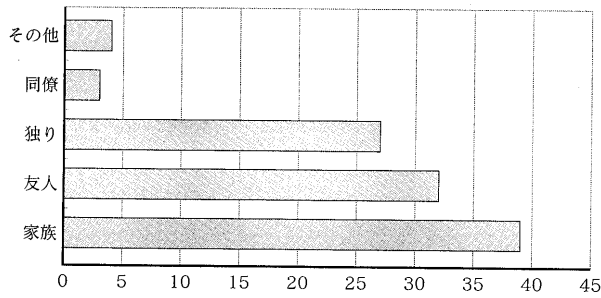
[図1] 参加者の年齢構成



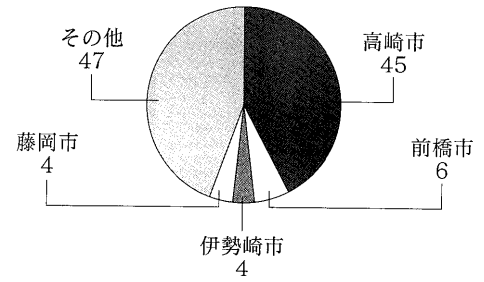
[図2] この催しを知った情報源



[図3] 参加時の同伴者



[図4] 参加者の地域別分類



[写真1] 当日の様子



[写真2] 当日の様子

[表1] 参加者に対するアンケート調査結果

(自由記載) N=106

心肺蘇生法 (AEDを含む) の体験ができてよかった。(9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AEDはとても役立つ</li> <li>・ わかりやすく教えてもらえた。</li> <li>・ AEDの使い方をはじめてみた。つあければ役立つと思う。</li> <li>・ 心臓マッサージはかなり力が必要とわかり非常によい経験でした。</li> <li>・ 誰にでもわかりやすく操作できそうで、勉強になった。</li> <li>・ 心肺蘇生コーナーは今後もイベントに出して欲しいです。</li> </ul>
健康チェックについての意見 (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血流検査がよかった。</li> <li>・ アルコールパッチテストがよかった。</li> <li>・ 酒が弱いことが良くわかった。</li> <li>・ 学生の皆さんの知識が豊富なのがすごい。</li> <li>・ これで安心して夕食時にアルコールが楽しめる。</li> <li>・ アルコールテスト、血流について知り大満足でした。</li> <li>・ 自分の血流が見られて感動し、安心した。興味深かった。</li> <li>・ 年齢より若くて安心しました。</li> <li>・ 定期手金にチェックしたと思いました。</li> </ul>
相談コーナーについての意見 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血圧が高いと思っていなかったので注意したいです。</li> <li>・ 相談コーナーで話を聞き、医者に行く気になった。</li> </ul>
その他 (23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いがけず短時間で健康チェックができうれしかった。</li> <li>・ 自分の体がとてもよくわかりました。</li> <li>・ 学生たちが熱心に対応してくれるのに感心した。</li> <li>・ 大変良かった。学生の皆さんがんばって。</li> <li>・ 親切で明るい声の対応が良かった。</li> <li>・ 若い人がてきぱきと対応し検査してよかった。</li> <li>・ とても参考になった。今後の参考にしたい。</li> <li>・ 時々やって欲しい。</li> <li>・ 皆さんがんばっているね。これからもがんばってください。</li> </ul>

[表2] アンケート調査結果 (学生)

	良かったこと	改善を望むこと
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習ができたので安心して臨んだ</li> <li>・協力・分担でスムーズにいった (5)</li> <li>・チームワークがよかった (4)</li> <li>・事前練習がよかった (3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置図があると良い (3)</li> <li>・説明のしかたを統一すると良い</li> <li>・資料の準備も必要 (3)</li> <li>・健康チェックに人員増加を</li> <li>・事前の指示をもっと詳細に出して欲しい (3)</li> <li>・掲示板等に活用</li> </ul>
実施場所・企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の相談対応内容に学んだ</li> <li>・立地条件が良かった (6)</li> <li>・市役所の明るいところでよかった (2)</li> <li>・血流測定が良かった (2)</li> <li>・狭かったが密着度がよかった</li> <li>・チームワークができスムーズ</li> <li>・企画が良かった (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客の工夫が必要 (2)</li> <li>・各コーナーが広いと良かった (3)</li> <li>・人通りが多いところでやってみたい</li> <li>・DVD, 写真など目を引くもの良い (2)</li> <li>・駅に近い場所 (2)</li> <li>・午前が少なかった。11時開始は?</li> <li>・待ち時間が長かった。整理券を発行しては?</li> <li>・年齢層に合わせた内容に</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に興味を持っている人が多く驚いた</li> <li>・多くに人と接して嬉しかった (3)</li> <li>・学校の旗が良かった (5)</li> <li>・広報を見て興味を持って参加 (2)</li> <li>・呼び込みで参加者が多く集まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気ぐるみ灘尾は目を引く工夫 (2)</li> <li>・ビラ配りは寒く、人通りがなく大変 (2)</li> <li>・藤岡の広報にも掲載できるとよい</li> <li>・ポスターをもっと多くして欲しい (2)</li> <li>・血流を目立たせる</li> <li>・入り口をわかりやすく</li> </ul>
備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品はそろっていた (5)</li> <li>・血流が良かった (3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血流測定器が3台は欲しい</li> <li>・説明資料の準備を多く</li> <li>・物品リストの作成も必要</li> </ul>
自由記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有意義で自分の学習になった (8)</li> <li>・次回も絶対参加したい (8)</li> <li>・たくさんに人と話ができ嬉しかった (3)</li> <li>・人数も適当で楽しく参加できた (3)</li> <li>・先生の指導がよく、勉強になった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交代でいろいろ参加したい (5)</li> <li>・説明ができなくて残念</li> <li>・もっと学生が中心になればよい</li> <li>・待っている人が楽しめるよう工夫</li> <li>・早い時期からの準備・指導の充実</li> </ul>

[表3] アンケート調査結果 (教員)

	良かったこと	改善を望むこと
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前練習が役立った</li> <li>・初めての企画であったが準備は問題なし</li> <li>・各コーナーは責任分担して準備した</li> <li>・学生の協力が良かった</li> <li>・測定値記入票を手渡ししたのが良かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順・使い方を大きなポスターやパネルにして掲示を</li> <li>・指導学生の知識・技術をUPさせる</li> <li>・血流系、体脂肪計の数が不足</li> <li>・事前に確認オリエンテーションが必要</li> </ul>
実施場所・企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容のバランスもよかった</li> <li>・学生・教員・事務の連携がよく気持ちよく実施できた</li> <li>・会場を十分に活用した開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し広いスペースが取れるとよい</li> <li>・測定の準備をする場所の確保</li> <li>・血流測定の場所をもう少し広く</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社の取材もあり、よかった</li> <li>・ポスターなどみやすかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学案内が当該年度用を準備</li> </ul>
備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なものは揃っていた</li> <li>・看護学部の旗が良かった</li> <li>・ナースキティーに人気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児血圧計の準備も必要</li> <li>・机がもう少しあったほうが良かった</li> <li>・骨密度の測定も検討したい</li> </ul>
自由記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に見て大成功 (4)</li> <li>・参加することで学生の成長と学習意欲につながった (3)</li> <li>・いろいろな年代の人に来ていただけたこと、主催者側も楽しんで参加</li> <li>・高崎市の後援があったこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一場所での継続が大切</li> </ul>

### 考察および今後に向けて

- 1) 参加者は50歳代以上の人が多かったが、全年代層にわたっていた。これは家族連れやグループでの参加者が多かったことによると考えられる。このイベントを知ったのは、当日会場に来て知った人も多かったが、市の広報や新聞、ポスターが情報源の人が多かった。地域別に見ると地元高崎市内の人が45人ともっとも多かったが、半数は遠隔地も含めて分散していた。これは開催中の花博を見に訪れた人たちが参加された影響と考える。
- 2) 印象に残ったことの自由記載〔表1〕では、「BLSとAED体験が楽しくできた」という意見が多かった。気軽に立ち寄り体験できるイベントのメリットが活かしたといえるのではないかと。全ての国民がAEDを使えるようになることを国は目指しているが、まだまだ普及していない実態が報告されている現状の中で、今後も継続することで多くの人が必要時にAEDを適正に使えることに貢献できると考えられた。アルコールチェックコーナーでは学生と参加者がチェック結果を通して楽しげにコミュニケーションを行っていた。アルコールパッチテストは学生が参加者と関係形成していく上での媒体として有効に機能していたといえよう。相談コーナーでは、「血圧が高いことが分かったので注意したい」「ここで話を聞くことができたので医者に行く気になった」といった回答もあり相談コーナーとしての役割が果たせていたと同時に、健康チェックと健康相談ができたのは有効であった。健康チェックを受けた後相談コーナーに立ち寄せられた状況と、「教員の相談対応を見て学んだ」という学生の意見からもこの組み合わせは意義があると考えられる。
- 3) 学生のアンケート結果からは、初めて会う人との関係形成、他者への説明責任、チームワーク、準備の大切さ等多くの学びができていたことが示唆された。よい学習の機会になっていることが伺われた。
- 4) 教員のアンケート結果からは、各教職員が積極的に参加し、このイベントを楽しみながら体験したことが推察された。
- 5) 今後に向けて考えなくてはならないことは、学生が生き生きと実践し学んでいたこと、一般市民の方々からの学生への励ましは、看護者への道への学生の関心を高め自信につながることを考えると、毎

年継続していくことが大切と考える。学生がこれまでの学びを統合する学習として定着でき、また大学として地域へ貢献できることになると考えられた。

### まとめ

看護学部の地域社会へ向けた活動の1つを報告した。地域の皆さんとともに健康を考えることが学生にとってかけがえのない学習の機会になると考えた企画であったが、一定の成果を得ることができた。初めての企画であり、準備から実施まで手探りの苦労もあったが、市民の皆さんが「楽しく健康づくり」をされることに少し貢献できたのではないかと満ち足りた思いである。

### 謝辞

準備・実施に当たって学校法人学文館、高崎市役所健康課の方々にご支援ご指導をいただいたことに心から感謝します。

実施責任者：佐藤敏子、川名ヤヨ子、渡部洋子、  
新井義訓、森田孝子